

交流と共感による 美しく元気な丹後

平成28年度 京都府の 主な予算

平成27年に全線開通した京都縦貫自動車道や今年度中に開通する山陰近畿自動車道野田川大宮道路「京丹後大宮インターチェンジ」の供用開始など交通基盤整備の進捗を生かし、豊かな食、ものづくりの伝統・技術、国内外の人々を魅了する自然景観・歴史・文化などを全国にPRするとともに、誰もが安心していきいき活動する「美しく元気な丹後」の実現に向けて、地域の皆さん、市町と一丸となって取り組んでいく今年度の主な事業をご紹介します。

産業振興による丹後地域の活性化

■「海の京都」連携広域DMO設立事業費 8,800万円

地域の総力を結集して、観光まちづくりを効果的かつ強力に推進するため、「海の京都DMO」を設立します。

DMOとは…
Destination Marketing/Management Organizationの略。地域全体の観光マネジメントを一本化する着地型観光のプラットフォーム組織

■地域構想推進美観事業費 2,000万円

「海の京都」の統一コンセプトに基づく魅力ある景観を形成するため、観光関連施設の外装改修などを支援します。
※地域構想…「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」の3つの構想

■伝統産業生産基盤支援事業費 1億円



伝統産業の生産基盤を支えるために行う設備類の新設・改修、伝統的技法に基づく製造に必要な諸道具類や事業継続に不可欠な設備類の更新などを支援します。

■丹後・西陣織物産地活性化事業費 540万円



広幅織物をはじめとする若手の織物職人や分業化している関連工程及び織機調整の研修などを産地組合と連携して実施します。

■丹後10次産業化拠点づくり事業費 4,300万円

平成27年4月にリニューアルオープンした『丹後王国「食のみやこ」』を観光拠点としての魅力アップを図るとともに、食人材の育成など農業ビジネスを推進し、「農」と「観光」のクロスオーバー産業を育成します。



■京都次世代育成学舎事業費 9,696万円

「丹後国営開発農地」での大規模営農技術、加工・流通・販売の総合的な実践研修や「海の民学舎」での新規漁業就業希望者向けの実践的な講義・実習により、農山漁村の担い手を育成します。

■「おいしい京都」首都圏戦略事業費 1,450万円



メディアへの発信力が高い首都圏の百貨店などにおいて、京野菜、丹後産海産物、畜産物などの専用販売コーナーを設置し、需要拡大と新たな販路を開拓します。

■有害鳥獣被害半減総合対策事業費 4億9,440万円

管内市町と連携したメスジカやニホンザルの捕獲や、防護柵の設置などの防除対策を推進するとともに、捕獲者育成研修を支援し、有害鳥獣被害に強い地域づくりを進めます。

振興局の主な独自事業

地域振興計画推進費 3,020万円

■丹後グルメフェスティバル開催

丹後王国「食のみやこ」において、グルメ、着物、文化など丹後ならではの魅力を楽しめるイベントを開催します。
9月18日(日)・19日(祝) 丹後グルメフェア
9月24日(土)・25日(日) 道一グランプリ



■「丹後ものづくり企業」魅力発信事業

織物・機械金属などのものづくり企業と連携し、京阪神の大学や専門学校を訪問するなど、丹後のものづくり企業と地域の魅力を発信し、人材確保を図ります。

■丹後着物で行き交うまちづくり

2020年の丹後ちりめん創業300年を盛り上げていくため、若手織物事業者と地元高校生とのコラボ企画の実施、着物を着る機会の創出などによる和装振興を行います。

「明日の京都」丹後地域振興計画

府民生活の安心・安全の確保

■緊急輸送道路の安心整備 (生活・交通基盤整備事業費) 249億3,095万円

自然災害時に力を発揮する道路ネットワークづくりの一環として、管内では国道482号(京丹後市丹後弥栄道路弥栄工区)の早期供用開始に向けて整備を進めています。



■河川改修・土砂災害対策 (安心・安全基盤整備事業費) 150億8,721万円

頻発する集中豪雨を踏まえ、浸水被害や土砂災害を減少させるため、福田川、小西川(京丹後市)、辻川(宮津市)などの河川改修や土砂対策などを推進します。

■原子力防災対策事業費 15億8,502万円

原子力災害を想定した避難体制や避難道路、屋内待避施設の放射線防護対策に伴う資機材の整備など災害に強い地域づくりを推進します。

府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり

■京都移住促進事業費 1億1,627万円

「京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例」の施行に合わせ、移住促進特別区域における税の軽減、空家改修の補助、金利負担の軽減など移住者の経済的負担軽減に取り組めます。



■少子化対策総合戦略事業費 153億1,543万円

次代を担う子どもや若者が、結婚や子育てに夢を持ち、子どもを生み育てる希望が叶う社会の実現に向け、抜本的・総合的な対策を行います。
◆子育て拠点をネットワーク化し、その核となる「きょうと子育てピアサポートセンター」を設置するなど、府内子育て拠点を強化・育成
◆金融機関と協働して、低利な融資制度を創設し、子育て世帯の経済的負担を軽減
◆保育所や放課後児童クラブの定員増を図るための施設整備を支援 等



■地域包括ケアセカンドステージ事業費 57億2,519万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「あんしん社会」の構築に向け、地域包括ケアシステムを推進するための重点的な取り組みを行います。
◆初期から重度までの認知症高齢者をトータルケアする「京都認知症総合センター(仮称)」の整備
◆不足する介護人材・福祉人材の確保のため、離職者が介護事業所に再就職する際に必要となる準備金の貸付制度を新設
◆健康長寿・未病改善事業として、コンビニを会場とした検診の実施などによりがん検診の推進を強化 等

■北近畿タンゴ鉄道支援費 4億1,490万円



京都丹後鉄道の快適・安全な運行を目指し、特急車両を安心・安全に運行するために必要な改修や車両デザインのリニューアル支援を行います。

■地域公共交通網再構築事業費 1,650万円

「鉄道・バス」を基軸に持続可能な公共交通ネットワークを再構築するための計画策定や新しい交通システムの実証などを行います。

環境と文化の伝承

■山陰海岸世界ジオパーク推進事業費 1,560万円

世界ジオパーク活動のユネスコ正式事業化を踏まえ、兵庫県・鳥取県と連携し、山陰海岸ジオパークの地質資源・景観の保全を推進するとともに、観光、ジオツーリズムなどの取り組みを展開します。



■1まち1キャンパス事業費 3,000万円

大学と市町村が連携して行う学生の地域活動や受入施設などの整備に対して助成を行い、大学と地域を結ぶ教育環境を整えていきます。



※額は全て平成28年度当初予算(平成27年度2月補正含む・府域全体に係るもの)です。1万円未満四捨五入。
お問い合わせ: 京都府丹後広域振興局企画総務部企画振興室 TEL 0772-62-4300 FAX 0772-62-5894